

# 琉球大学学術リポジトリ

沖縄関係 沖縄復帰記念式典(1) (閣議決定、関係省庁連絡会議)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43577">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43577</a>

亦ノルル總あて来往信

官房長

官房総務課長

儀典官

アメリカ局長

参事官

北米第一課長

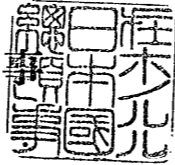
秘密標記(赤色)

- 総務
- 首席事務官
- 総務
- 沖繩
- 海外調査
- 漁業
- 航空
- 対子協力
- 連絡調整
- 調査
- 力ナダ
- 局庶務

三訂  
外務大臣

外務大臣 殿

在在ノルル  
高良 総領



第 102 号  
昭和 四十七年 2月 18日

(件名)

沖縄の日本復帰時における祝典等

引用公・電信  
日付・番号



当地の日系人連合会等は沖縄県人会と  
相諮り、来る5月15日の沖縄の日本  
復帰記念祝典を計画するに  
之の参加を以て、貴省に沖縄現地

付属添付  付属空便(行)  付属空便(DP)  付属船便(貨)  付属船便(郵)

本信送付先: 大正  
本信写送付先:  
省内写配布希望先:

GA-3-1

3710 在外公館

子  
米沖  
(2)

とあり、本件計画の概略と承認  
の旨を綴り、貴省との関係等  
を以て、本件を急ぐ様にお取  
扱の上、是等関係機関に  
本件に関する旨を本官より心  
得おくり、貴省に指示  
賜らる。

GA-4

外務省

秘密表示（朱印）  
秘  
無期限

部数指示	発信用	執務用	備考
主信	3		3
付	お礼(お礼)		
属			

発送日 昭和47年2月28日  
処理日 昭和47年2月28日  
発信 タイプ 検査

文書課長 (印) 公 信 案 (分類)

公 信 番号 米北1 第 40 号	公 信 日付 昭和47年2月28日
大 臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 房 長	主 管 アメリカ局長 参 事 官 北米才一課長 起案者 12中 電話番号 2465
起案 昭和47年2月24日	
協 議 先	
受 信 者 在ホノルル 高良総領事	発 信 者 外務大臣
写 送 付 先 在米 牛島大佐(別封) 在沖 高瀬大佐(別封)	(希望発送日)
件 名 沖縄復帰記念式典周催準備に関する資料の送付	

GA-2 28 10 外務省 回覧番号

米北1第40号  
昭和47年2月28日

在ホノルル総領事殿

外務大臣

(件名)

沖縄復帰記念式典周催準備に関する資料の送付

引用公・電信  
日付・番号

2月18日付表信才102号

沖縄復帰記念式典の周催準備については、去る1月18日の閣議で口答了解を得て総理府に沖縄復帰記念式典準備室が設置され、式典周催に付き諸般の準備が進められているところ、本件に關する下記資料別添送付するにつき、委細右にて

※ 付属添付  付属空便(行)  付属空便(DP)  付属船便(貨)  付属船便(郵)

(※印は文書課記入)

GA-2-1

外務省

了知の上、然るべく説明おまありたい。

なお、わが方としては米側に對し、本件式典に然るべき要人の派遣方風に要請しているが、右は貴官お含みまで。

記

1. 沖縄復帰記念式典の肉催準備に於ての閣議口答了解 別添1

2. 沖縄復帰記念式典肉催の準備に於て(案) 別添2

3. 同上(2月18日沖縄復帰記念式典準備室長決裁) 別添3

本信送付先 ホルル

本信送付先 米、沖縄復帰準備委日本國政府代表(付添)

別紙(2)

沖縄復帰記念式典開催の準備について(案)  
(昭和47年2月 日)  
総務長官決裁)

昭和47年1月18日閣議口頭了解に基づき沖縄復帰記念式典の開催準備は、下記により進めることとする。  
なお、沖縄那覇市会場における式典については、返還式及び沖縄県主催式典との関係で、今後ほか検討を進めることとする。

1. 主催・名称  
式典は、沖縄復帰記念式典と称し、内閣主催に  
し行はう。
2. 日時・場所  
(1) 式典は、沖縄復帰の日、当る昭和47年5月15日、  
日本武道館において行はう。  
(2) 式典は、午前10時30分開始とし、1時前以内程度とする。F.T.I.  
当日、沖縄返還式が行われる場合は、その終了後に開始する。
3. 参列者  
(1) 式典は、天皇・皇后両陛下の御臨席と仰せ、約  
1万人の参加を得る実施する。  
(2) 式典には、皇族、衆・参両院議長、最高裁判所  
長官、沖縄県代表、アメリカ合衆国政府代表、在日  
外交団の参列を求め、各府、各庁、各都、各セ  
ンターに広く参列者を呼びこみ、配席する。  
(3) 式典参列者の内訳は、おおむね次のとおりとする。

- |          |    |
|----------|----|
| ア. 官公署関係 | 2割 |
| イ. 民間関係  | 5割 |
| ウ. 沖縄関係  | 1割 |
| エ. 青少年代表 | 2割 |

(別紙 1, 2)

4. 式典委員等

- (1) 式典の円滑な運営を図るため、式典委員長、副委員長、本員及び幹事を置く。
- (2) 式典委員長は内閣総理大臣とし、副委員長、本員は内閣府大臣及び沖縄関係者に内閣総理大臣が本属する。
- (3) 幹事は、関係省庁及び琉球政府の職員に内閣総理大臣が本属する。

5. 式典の演出

- (1) 式典は、<sup>(の場)</sup>厳粛の中にも、全国民あつて沖縄復帰を祝賀し、併せて国際間の平和的友好関係促進の気運を醸成できるよう特に配慮する。
- (2) このため、民間の専門家と本属し、協力を求める。  
(別紙 3)

6. 式典当日の祝意表示

- (1) 各省庁においては、式典当日、国旗を掲揚するとともに、当日の午後は公務に支障のない範囲において職員が勤務し、<sup>し</sup>いことと各省庁の長が認めることとするよう配慮する。
- (2) 各地方公共団体、学校、会社、その他一般においても、同様の方法により記念の趣旨にそつう協力方を要望する。

7. その他

- (1) 式典参加者には、沖縄地図及び「時の動き」(沖縄の復興復帰に至るまでの経緯、復帰対策の概要等を特撮)と毎日配付する。
- (2) 沖縄復帰を記念し、沖縄県の小・中学校教育長主従及び式典参加者に記念品を配付する。(別紙 4)
- (3) 沖縄復帰を全国民に周知とつり、これを祝賀するポスターと、本工内掲示用、沖縄県内掲示用の二種を作成し、掲示する。(別紙 5)
- (4) 式典の様相を収録し、過去の沖縄関係記録フィルムと合装した記録映画を作成する。(別紙 6)

別紙1

原

案

改

正

案

7. 沖縄県民代表(青少年代表を含む)

8. 青少年代表

9. 外交関係

- (1) 在日米大使等の夫妻
- (2) 在日邦外国外大使等の夫妻

10. 報道関係

テレビ ラジオ 新聞 雑誌 外国  
報道関係者等の代表

11. その他

- (1) 元衆参両院議長、元内閣総理大臣、元最高裁判所長官夫妻
- (2) 招待することが決まらぬ者



沖縄復帰記念式典参加者推薦基準(案)

案 改正 案

1. 皇室関係

2. 立法機関

- (1) 衆参両院議長、副議長夫妻
- (2) 国会議員(国務大臣及び政務次官と併せて)
- (3) 事務局の部長以上並びにこれに準ずる者
- (4) その他事務局職員の中を、ふさわしい者

3. 行政機関

- (1) 国務大臣夫妻
- (2) 総理大臣局長以上並びにこれに準ずる者
- (3) その他、職員の中を、ふさわしい者

4. 司法機関

- (1) 最高裁判所判事夫妻
- (2) 総理大臣、局長以上並びにこれに準ずる者
- (3) その他、職員の中を、ふさわしい者

5. 地方公共団体

- (1) 都道府県知事、市町村長、同議会議員
- (2) 全国市長会会長並びに同議会議長、会長
- (3) 全国町村会会長並びに同議会議長、会長

6. 民間関係

- (1) 特許法人の総裁、副総裁、専任、副専任等。
- (2) 次々各号の順に該当する者。
- (3) 各号において代表的な立場にある者
- 1. 在外の首長招待予定者が中心

參列者中，夫惠同件之招待者（案）

1. 皇室
2. 衆・參兩院正副議長
3. 國務大臣
4. 在本邦大使等
5. 元總理大臣、元衆參兩院議長  
元最高裁判所長官

別紙2

沖縄復帰記念式典参列者推せん割当一覧表 (案)

機関	区分	衆参両院		国家公務員		地方公共団体	協賛者	沖縄県	本邦	その他	合計		
		正副議長	国務大臣	長官	その他								
国会		693	8 (4)	16 (8)	107					14 (7)			
内閣府	47 ( )			2 (1)	181		26	592	1000	2000	323 (13)		
法務省				2 (1)	21			180					
外務省				2 (1)	22		3	180		172 (86)	213		
大蔵省				2 (1)	40		8	240					
文部省				2 (1)	29		18	770					
厚生省				2 (1)	34		10	460					
農林省				2 (1)	41		26	810					
通産省				2 (1)	45		37	490					
運輸省				2 (1)	51		20	420					
郵政省				2 (1)	8		7	240					
労働省				2 (1)	22		7	180					
建設省				2 (1)	22		14	180					
自治省				2 (1)	17	96	5	180					
最高裁			判事	30 (15)	24			85			6 (3)		
合計	47 ( )	693	8 (4)	70 (35)	664	96	181	4507	1000	2000	172 (86)	536 (11)	18000

(注) 〔表中括弧外は参列者総数、括弧内の数字は夫婦同伴により招待する者の数を示す。〕  
〔その他の欄には、元首相、元衆・参両院議長、元最高裁判所長官の数を示した。〕

47.1.26

故吉田茂國葬儀参列者の明治100年記念式典  
参列者数一覧表

区分	行事	故吉田茂國葬儀	明治100年記念	沖縄復帰記念(兼)
皇室			31(16)	47( )
国会議員		700	693	693
衆参両院正副議長			8(4)	8(4)
國務大臣			68(34)	70(35)
国家公務員		500	1,207	664
地方公共団体		300		96
特殊法人等関係		100	300	181
明治100年記念準備 委員会委員			66	
各界関係者		2,600	4,780	4,507
沖縄県代表				1000
青少年代表			2,000	2000
在外大使等		200	172(81)	172(86)
報道関係者			400	536
自民党関係者		100		
元前国会議員		1,100		
遺族特別縁故者		300		
葬儀関係者		20		
その他			26(11)	26(11)
計		6,220	9,751(1,511)	10,000( )

(注) 表中括弧外は参列者総数、括弧内の数字は夫婦  
同伴により招待する者の数を示す。

別紙3

式典演出候補名録

氏名	年令	略歴	正
青山圭男	69	学歴 宗習院出進後、オーストリア国立オペラ劇場 付属舞踊学校教授、ドイツ・メジウジツェル 修業 職業 新舞踊家、オペラ演出家、東洋音楽学校教員 日本芸術連盟理事、日本芸術家協会理事	
浅利慶太	58	学歴 慶応大学私立文部 職業 演出家 日本生念舎館(日生劇場)営業制作担当後 著書「演劇の波復たためた」下2、下1、下3	(文部省芸術祭委員、伊庭孝策(七曲地))
阿部広次	51	学歴 演劇家 職業 演出家 文化庁芸術審美部 著作「築屋 演出家 日本放送作家協会「評議員 著書「演劇の波復たためた」(下1、下2、下3)	(文化庁芸術祭委員、伊庭孝策(七曲地))
飯沢匡	62	学歴 職業 演出家 京都市立二商 日本演出家協会理事	
戎井市郎	54	学歴 職業 演出家 日本演出家協会理事 (文化庁芸術祭委員、伊庭孝策(七曲地))	
内村直也	61	学歴 職業 演出家 慶応大学経済学部 著作「演劇の波復たためた」(下1、下2、下3) 「演劇の波復たためた」(下1、下2、下3) (文化庁芸術祭委員、伊庭孝策(七曲地))	

氏名	生年	字	職	経歴
松浦作夫	心	正業	職業	慶應義塾(文学部) 演劇部 (名古屋大学) 演劇部 演劇部(国士堂)
観世栄夫	43	正業	字職業	東京音楽学校 演劇部 新演劇協会理事 東京大学文学部芸術科 演劇部 著書「演劇」
木村光一	39	正業	字職業	演劇部 著書「演劇」
堂本五樹	37	正業	字職業	慶應義塾(文学部) 演劇部 著書「演劇」 新演劇協会(国士堂) (演劇部)

別紙4

招待者(東京)に対する記念品について

1. 紅型

ナイールクロス

2月中旬発注すれば4月末日までに  
5000枚納入可能である

2. 漆器

丸盆(直径30cm. 黒漆. 果花「ごいじ」  
を以て飾る)

2月中旬発注すれば4月末日までに  
5000個納入可能である

3. ネクタイ(琉球'緋')

2月中旬発注すれば4月末日までに  
1000本納入可能である

4. ネクタイピン(珊瑚加工品)

2月中旬発注すれば1ヶ月間で  
10,000個製造可能である

5. 陶器

現在注文が多く受注できない

(参考)

本件2月7日琉球政府通商産業局  
工業課からの電話報告による

沖縄式典参列者に対する記念品について

1. 鶴急文鎖 造幣局

2. スプーン 御木本真珠店

3. 七宝製ペン四 三越



児童に対する記念品の配付について
1. 配布方法
琉球政府文教局 — 連合教育 <sup>区</sup> 教育委員会
— 市町村教育委員会 — 各小中校の順に配付
す。
2. 配布期間
(1) 沖縄本島、先島(宮古・八重山)本島の場合 那覇到着後約20日の配布期間を要する。
(2) 沖縄、先島の島の場合那覇到着後、 約30日間の配布期間を要する。

品 名	市 価	会 社 名
ボールペン	50, 100, 200, 300	プラチナ, 三山製作所, 三菱鉛筆 オートボールペン, 三越, セーラー ホー文真堂, 文教社
シャープペンシル	50, 200 ~ 500	ぺんてる, 三菱鉛筆, オートボールペン 三越, セーラー, ホー文真堂, 文教社
絵 具 (12色)	250	ぺんてる
ノート		コクヨ, 三越
アルバム		ナカバヤシ
時間割表	300	ホー文真堂
書見台		"
ペン立		"
情報基地		"
筆 入	150 ~ 200	" 三越
キーホルダー スライドペン	200	三越
定規セット	170	"
レターセット	150	"
下 敷		
国語ハンドブック		三省堂

別紙5

ポスターの作成について

- 1 種類 本土内掲用、沖縄内掲用の2種類
- 2 規格 B2判 オフセット4色刷、110g紙使用
- 3 部数 130,000部 (本土用 120,000部)  
(沖縄用 10,000部)
- 4 配布先 都道府県 100,000部(市町村別)
  - 各府庁 18,800部(先掲用)
  - 内係団体 1,200部(窓口)
  - 沖縄 10,000部(学校明細)
- 5 内容 (1)本土用  
沖縄県の誕生の周知を(はかり)に  
祝賀するの、全国民を(はかり)とする。
- (2)沖縄用  
同上、沖縄県民を(はかり)とする。
- 6 予算 2,745,000円

(0000000) 2000-0000-0000

別紙5

別紙6

沖縄復帰記念式典記録映画の作成について(案)

- 1 構想
- 沖縄の復帰にあたり、5月15日東京で挙行される記念式典、那覇での返還式、記念式典等の記録とともに、戦後28年間にわたる復帰への歩みを収録し、沖縄復帰記念式典記録映画として製作し、記録として保存するほか、内容を縮小し、一般映画館での上映およびテレビにおける放映をはかる。

別紙6

お見積書

保存用 16ミリ カラー、スタンダード判

40分80本

16ミリ カラー、スタンダード判

40分80本

上映用 35ミリ カラー、スタンダード判

25分20本

製作費

14,500,000円

保存用製作費 (プリント代共) 10,000,000円

上映用製作費 (プリント代共) 3,000,000円

上映宣伝費

500,000円

上映料

1,000,000円



秘  
無 期 限

沖繩復歸記念式典開催の準備について

昭和47年2月18日  
沖繩復歸記念式典準備室長決裁

昭和47年1月18日閣議口頭了解に基づく沖繩復歸記念式典の開催準備は、下記により、進めることとする。

なお、沖繩県庁市会場における式典については、返還式との関係で、今後なお検討を進めることとする。

記

1. 主催・名称

式典は、沖繩復歸記念式典と称し、内閣主催により行なう。

2. 日時・場所

(1) 式典は、沖繩復歸の日である昭和47年5月15日、日本武道館において行なう。

(2) 式典は、午前10時30分開始とし、1時間以内程度とする。ただし、当日、沖繩返還式が行なわれる場合は、その終了後に開始する。

3. 参列者

(1) 式典は、天皇・皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、約1万人の参加を得て実施する。

(2) 式典には、皇族、衆・参両院議長、最高裁判所長官、沖縄県代表、アメリカ合衆国政府代表の参列を求めるほか、各界、各層、各世代から広く参列者を得られるよう配慮する。

(3) 式典参列者の内訳は、おおむね次のとおりとする。

ア 官公署関係	2,000人
イ 民間関係	5,000人
ウ 沖縄関係	1,000人
エ 青少年代表	2,000人

4. 式典委員等

(1) 式典の円滑な運営を図るため、式典委員長、同副委員長、委員及び幹事を置く。

(2) 式典委員長は内閣総理大臣とし、副委員長委員は、全国務大臣及び沖縄関係識者に内閣総理大臣が委嘱する。

(3) 幹事は、関係省庁及び琉球政府の職員に内閣総理大臣が委嘱する。

5. 式典の演出

(1) 式典の演出に当たっては、厳粛な中にも、沖縄復歸に対する全国民の喜びを表現できるよう特に配慮する。

(2) このため、演出及び司会については、民間の専門家を委  
嘱する。

#### 6. 式典当日の祝意表示

- (1) 各省庁においては、式典当日、国旗を掲揚するとともに、  
当日の午後は公務に支障のない範囲において職員が勤務しな  
いことを各省庁の長が認めることができるよう配慮する。
- (2) 各地方公共団体、学校、会社、その他一般においても、同  
様の方法により記念の趣旨にそうよう協力方を要望する。

#### 7. その他

- (1) 式典参列者には、沖縄地図及び「時の動き」（県勢の概要  
復帰に至るまでの経緯、復帰対策の概要等の特集）を当日配  
布する。
- (2) 沖縄復帰を記念し、式典参列者及び沖縄県の小中学校児童  
生徒に記念品を配布する。
- (3) 沖縄復帰の全国民への周知を図り、これを祝賀するポスタ  
ーを作成し、掲示する。
- (4) 式典の様相を収録し、過去の沖縄関係記録フィルムと合製  
した記録映画を作製する。